

6 - 10 中国・四国地方の地殻変動

Crustal Movements in the Chugoku and the Shikoku Districts

国土地理院

Geographical Survey Institute

第1図は、徳山～広島間の水準測量結果である。最近7年間に広島側が7 cm程沈降している。

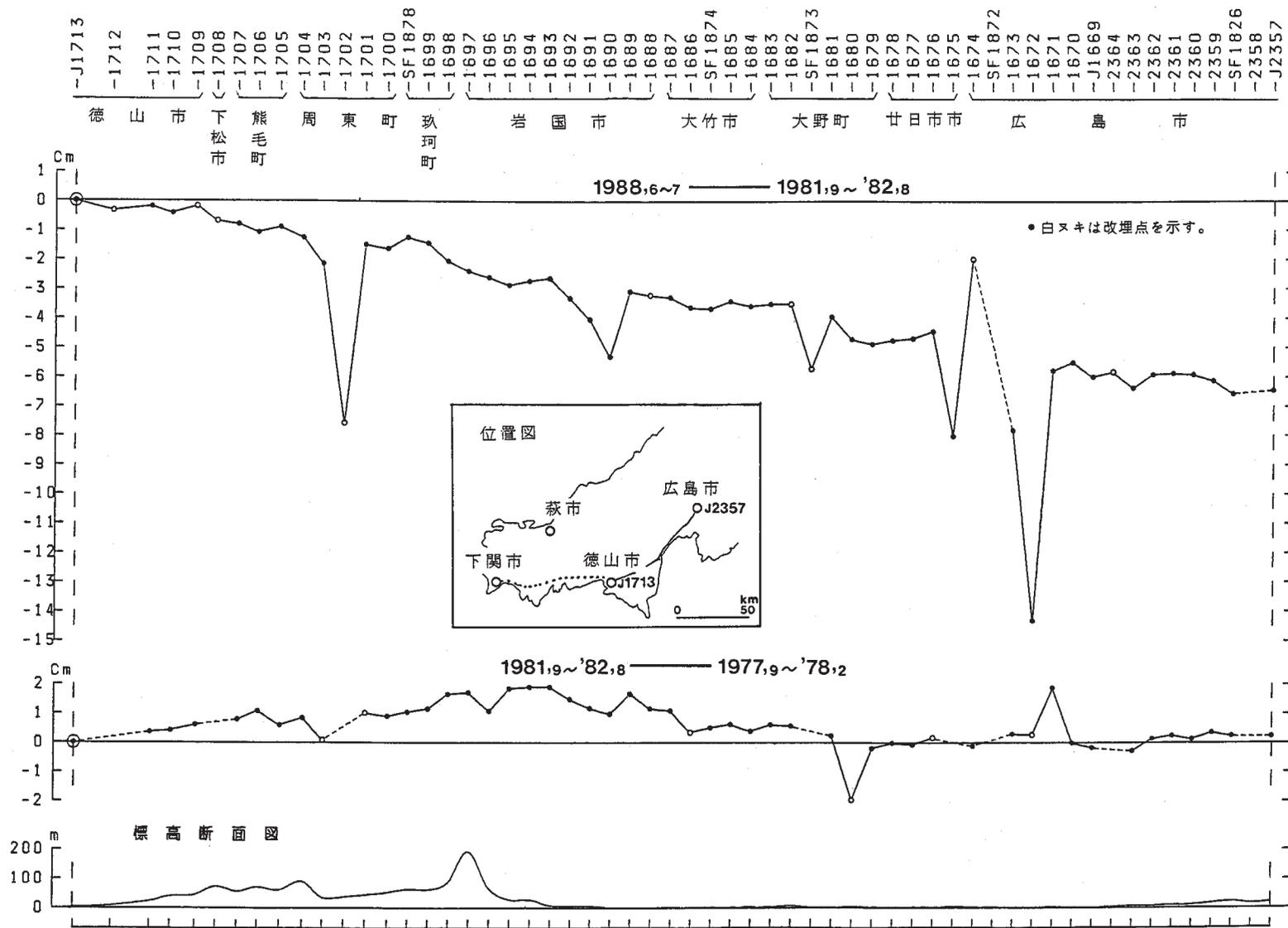
第2図は、広島・徳山駿潮場の月平均潮位及び潮位差である。1980年頃から広島が沈降しており、水準測量の結果と調和する。

第3図は、鳥取菱形基線測量結果である。大きな変化はみられない。

第4図は、池田菱形基線測量結果である。歪はあまり大きくないが、中央構造線に期待される右ずれ運動と調和的である。

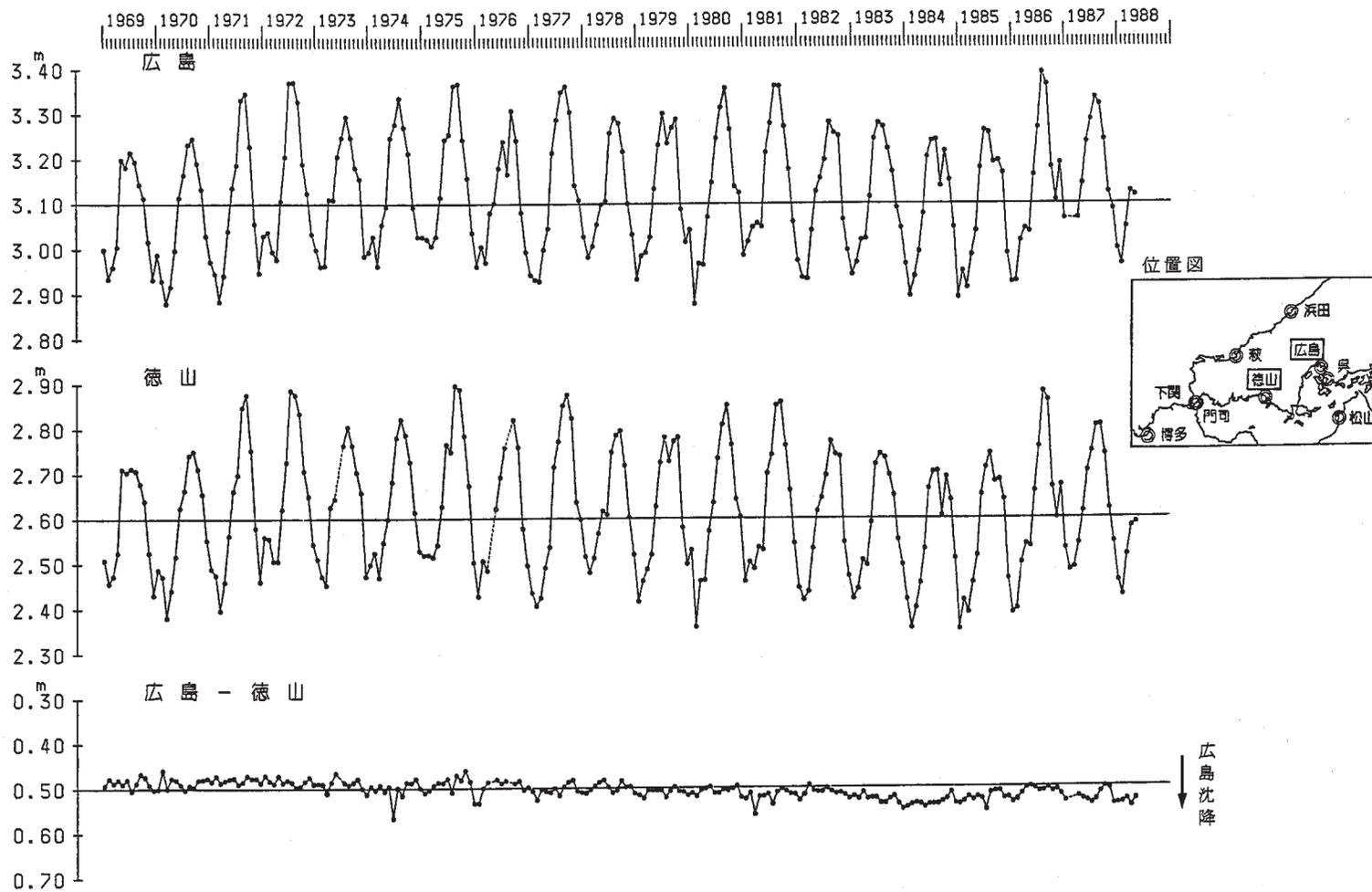
参 考 文 献

- 1) 国土地理院：中国地方中部の上下変動，連絡会報，**27** (1981)，295 - 297.
- 2) 国土地理院：中国地方の上下変動，連絡会報，**32** (1985)，347 - 351.
- 3) 国土地理院：鳥取菱形基線測量結果，連絡会報，**33** (1985)，415 - 416.
- 4) 国土地理院：池田菱形基線測量結果，連絡会報，**33** (1985)，417 - 418.
- 5) 国土地理院：中国・四国地方の地殻変動，連絡会報，**36** (1986)，355 - 364.



第1図 徳山～広島間の上下変動

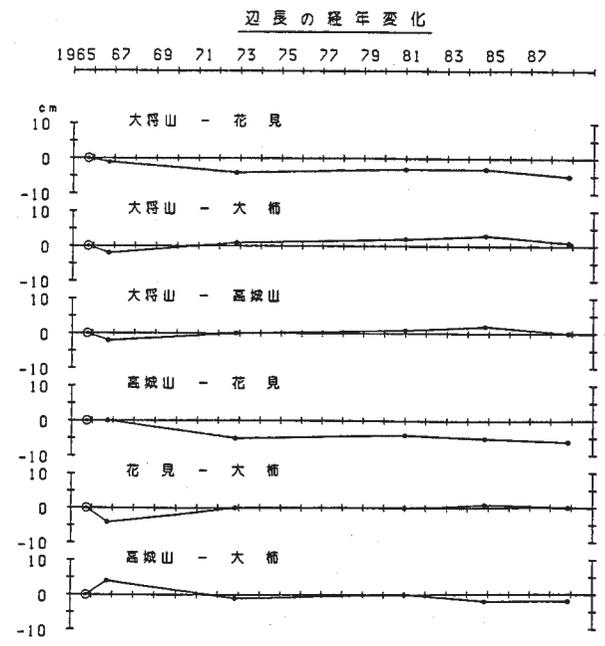
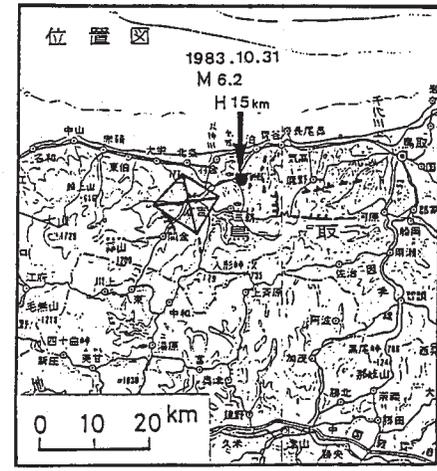
Fig. 1 Level changes along the route from Tokuyama to Hiroshima.



第2図 広島・徳山験潮場の月平均潮位と潮位差

Fig. 2 Monthly mean sea levels at the Hiroshima and the Tokuyama tide stations and difference in monthly mean sea level between them.

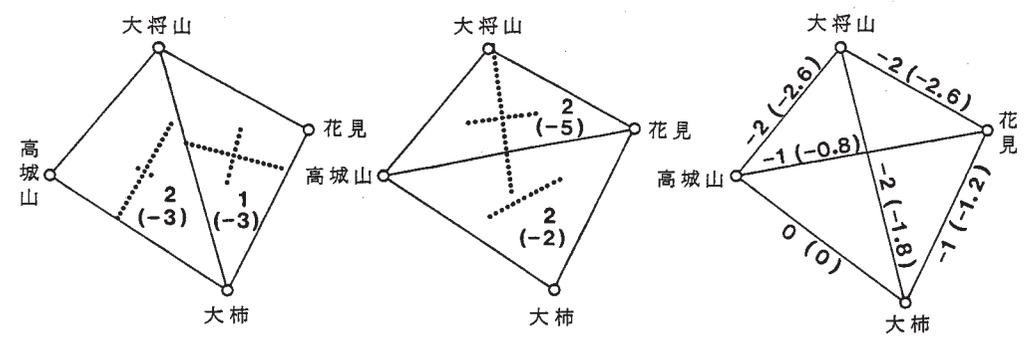
測定年 区 間	1						2				
	1965.8	66.8	72.9	80.11	84.9	88.9	6-1	6-2	6-3	6-4	6-5
大将山 - 花見	7648.66	.65	.62	.63	.63	.61	-5	-4	-1	-2	-2
大将山 - 大柿	11370.63	.61	.64	.65	.66	.64	1	3	0	-1	-2
大将山 - 高城山	7571.43	.41	.43	.44	.45	.43	0	2	0	-1	-2
高城山 - 花見	12017.57	.57	.52	.53	.52	.51	-6	-6	-1	-2	-1
花見 - 大柿	8343.29	.25	.29	.29	.30	.29	0	4	0	0	-1
高城山 - 大柿	9647.47	.51	.46	.47	.45	.45	-2	-6	-1	-2	0



水平歪
1988.8-9—1984.9

1×10^{-6} 伸び
 1×10^{-6} 縮み
 主軸
 数值 最大せん断歪 10^{-6}
 () 面積変化率 10^{-6}

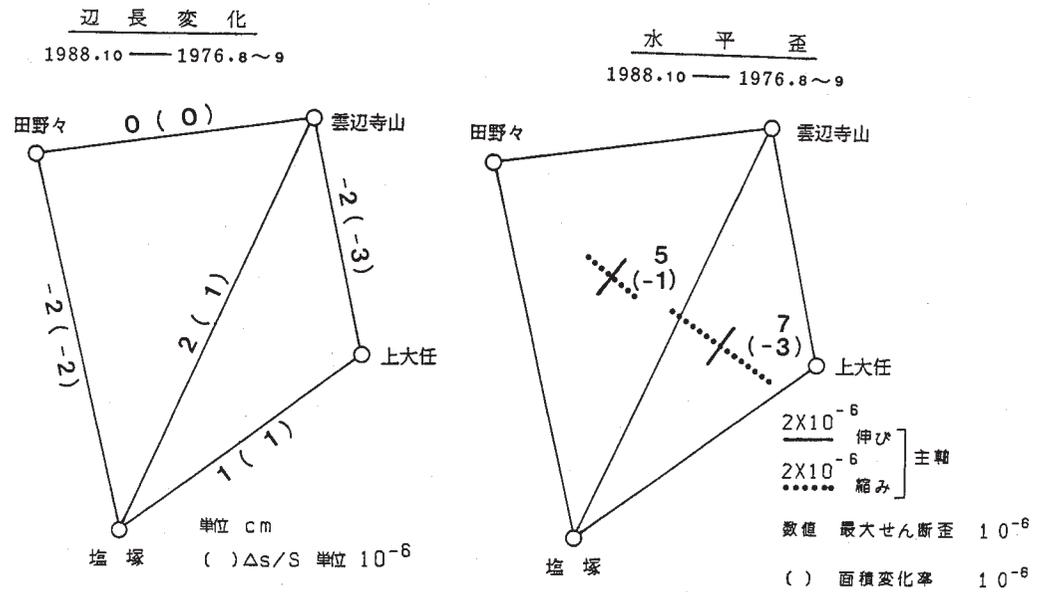
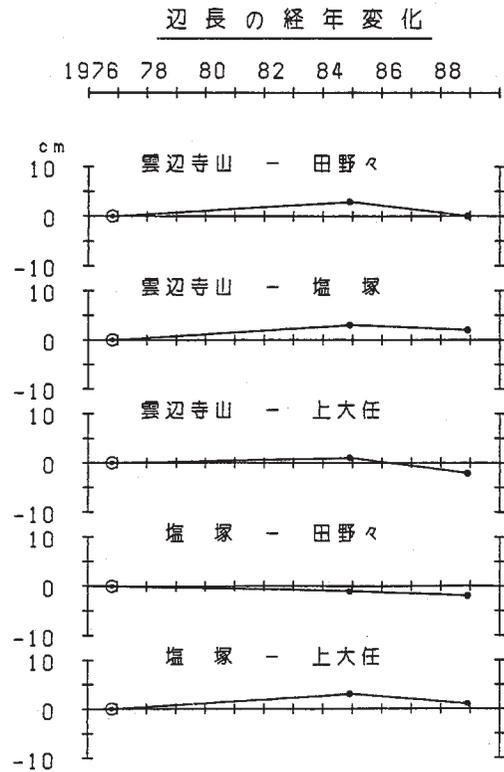
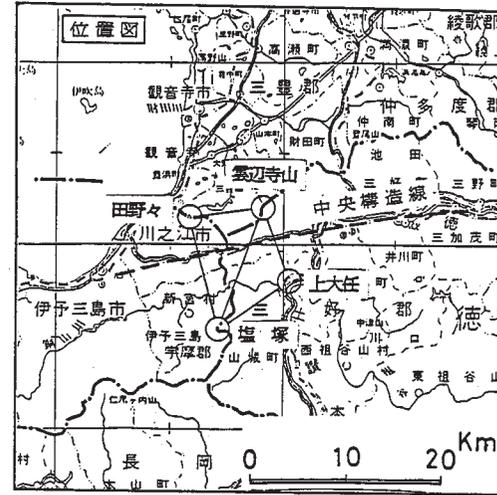
辺長変化
 1988.8-9—1984.9
 単位 mm
 () $\Delta s/s$ 単位 10^{-6}



第3図 鳥取菱形基線測量結果

Fig. 3 Results of precise distance measurements in the Tottori rhombus baselines.

測定年 区 間	1	2	3	3-1	3-2
	1976.9	84.10	88.10		
雲辺寺山 - 田野々	7794.97 ^m	.00 ^m	.97 ^m	0 ^{cm}	-3 ^{cm}
雲辺寺山 - 塩塚	13548.77	.80	.79	2	-1
雲辺寺山 - 上大任	7982.84	.85	.82	-2	-3
塩塚 - 田野々	11620.18	.17	.16	-2	-1
塩塚 - 上大任	8577.60	.63	.61	1	-2



第4図 池田菱形基線測量結果

Fig. 4 Results of precise distance measurements in the Ikeda rhombus baselines.